いばらきネットモニター 地球温暖化対策に関するアンケート

1 調査目的

地球温暖化対策実行計画(平成29年3月改定)の見直しに当たり、本県の地球温暖化対策に係る施策の基礎資料とするため、県民の意識調査を実施するものです。

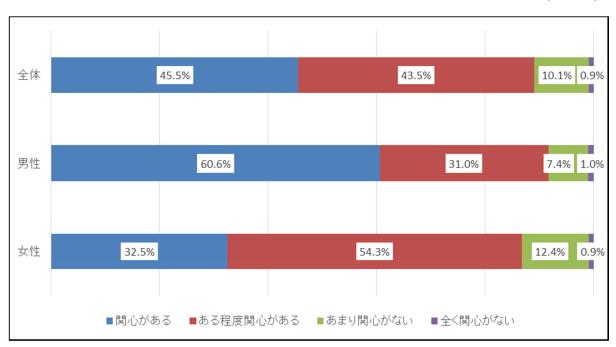
2 結果の概要

- ・地球温暖化対策の関心について、「関心がある」と回答したのは 89%、「関心がない」 と回答したのは 11%であった。
- ・地球環境に配慮したライフスタイルの定着を図るための県民運動「いばらきエコスタイル」について、「知っている」と回答したのは約 28%、「知らない」と回答したのは約 72%であった。
- ・県が重点的に行うべき地球温暖化対策(緩和策)について、「家庭や事業所において実践できる省エネのための具体的手法の紹介」が最も高く、「小中学校などにおける環境教育機会の充実」、「家庭用燃料電池(エネファーム)や家庭用蓄電池など省エネ設備の導入に対する助成」の順であった。

【問1】(地球温暖化に関する関心)

あなたは、地球温暖化に対してどの程度関心を持っていますか。

(n=437)

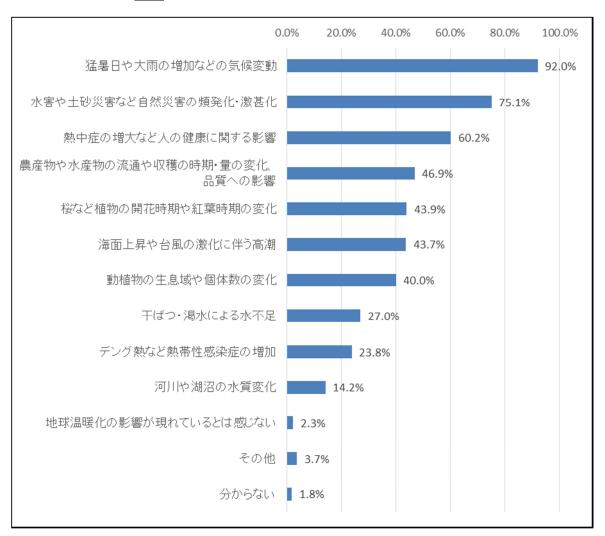


地球温暖化対策の関心について、「関心がある (45.5%)と「ある程度関心がある (43.5%)を合わせた【関心がある】は89.0%であった。

性別で比較すると、【関心がある】と回答した割合は、男性(91.6%)の方が、女性(86.8%) より高かった。

【問2】(地球温暖化による影響について)

あなたの身近な範囲で、地球温暖化による影響が既に現れていると感じていることはありますか。当てはまるものを全て選んでください。 (n=437)



地球温暖化による影響が既に現れている項目について、「猛暑日や大雨の増加などの気候変動 (92.0%)が最も多く、次いで「水害や土砂災害など自然災害の頻発化・激甚化 (75.1%)「熱中症の増大など人の健康に関する影響」(60.2%)の順であった。

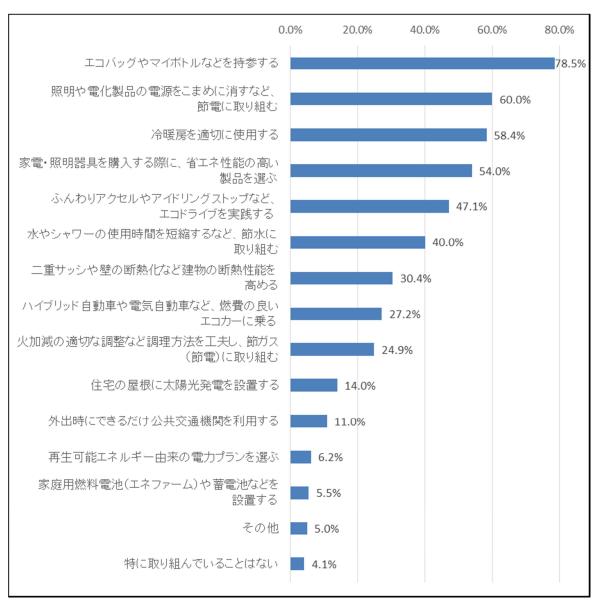
「その他」(3.7%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・これらが温暖化によるものなのか判断できなかった。
- ・近くの海が40年位前に比べて近いと思った。砂浜が減っている。
- ・生態系全体への影響・資源枯渇のおそれ。
- ・夏の高温などによる住宅の屋根や外壁などの経年以上の劣化。
- ・夏季オリンピックなどイベント開催に関する影響。
- ・雪の日が少なくなったり、冬日が少なくなったりした。
- ・地球温暖化と上記項目の関係は、専門家間でも見解の相違がある。

など、16件のご意見がありました。

【問3】(地球温暖化緩和策の行動について)

地球温暖化対策として、あなたが家庭で実際に取り組んでいる行動はありますか。当てはまるものを全て選んでください。 (n=437)



地球温暖化対策として、家庭で実際に取り組んでいる項目について、「エコバッグやマイボトルなどを持参する」(78.5%)が最も多く、次いで「照明や電化製品の電源をこまめに消すなど、節電に取り組む」(60.0%)、「冷暖房を適切に使用する」(58.4%)の順であった。「その他」(5.0%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・温暖化対策という意味ではなく節約や節電として取り組んでいる。
- ・LED 電球などの消費電力の少量化。
- ・工業生産物を減らすためにリサイクル、リユース等中古品を選ぶ。
- ・外出時にできるだけ自転車を利用する。
- ・風呂の水を洗濯に再利用する。
- ・無駄なエネルギーを使わないように、遠くからの食糧よりも地産地消。
- ・ゴミの分別や資源ごみをリサイクルにまわしたりして、ゴミの減量。

など、22件のご意見がありました。

【問4】(「いばらきエコスタイル」について)

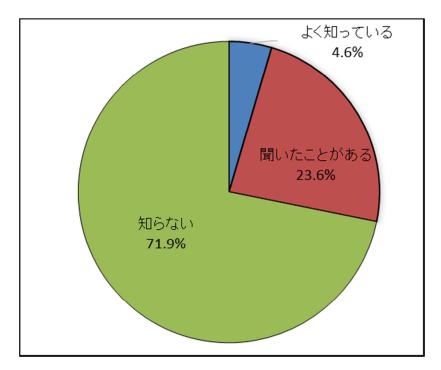
茨城県では、地球環境に配慮したライフスタイルの定着を図るため、県民運動「いばらきエコスタイル()」を推進しています。あなたは、この県民運動「いばらきエコスタイル」を知っていますか。 (n=437)

「いばらきエコスタイル」について

家庭・職場・移動時などで、年間を通じて省エネや節電に取り組むライフスタイルのこと。 詳細については茨城県ホームページをご覧ください。

茨城県ホームページ(県民生活環境部環境政策課地球温暖化対策グループ)はこちら。

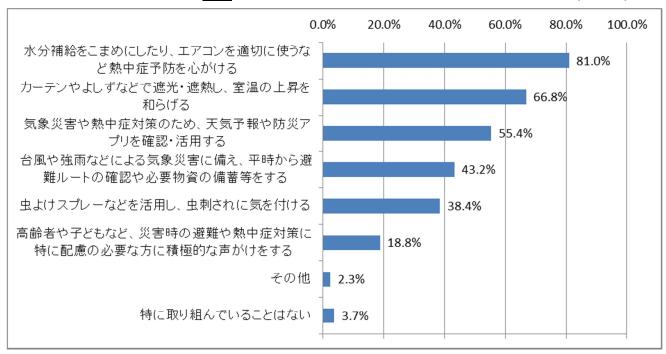
(https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kansei/chikyu/ibarakiecostyle.html)



「いばらきエコスタイル」の認知度について、「よく知っている」(4.6%)と「聞いた事がある」(23.6%)を合わせた【知っている】は28.2%であった。

【問5】(気候変動適応策の行動について)

地球温暖化の進行を抑制する「緩和策」に対して、既に起こっている気候変動に対応するための対策を「適応策」といいます。あなたが日頃から取り組んでいる「適応策」に繋がる行動はありますか。当てはまるものを全て選んでください。 (n=437)



気候変動に対する適応策に取り組んでいる項目について、「水分補給をこまめにしたり、エアコンを適切に使うなど熱中症予防を心がける」(81.0%)が最も多く、次いで「カーテンやよしずなどで遮光・遮熱し、室温の上昇を和らげる」(66.8%)、「気象災害や熱中症対策のため、天気予報や防災アプリを確認・活用する」(55.4%)の順であった。

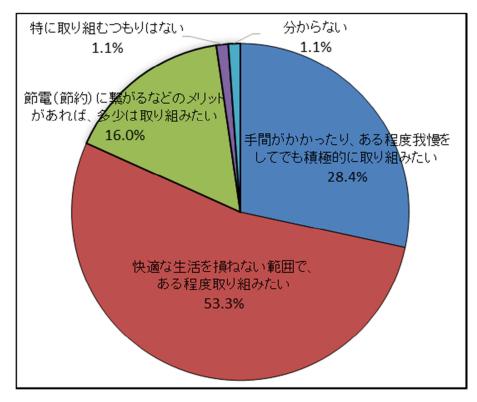
「その他」(2.3%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・これらのことは適度に行っているが温暖化のためではない。
- ・スマートホーム化し、家の温度管理に気を付ける。
- ・プールではラッシュガードを子どもに着させている。
- ・農産物の品種や農業資材などの見直しをしている。
- ・夏は軽装で過ごし、冬は着込み、ドレスコードにこだわらない。

など、10件のご意見がありました。

【問6】(地球温暖化対策と生活について)

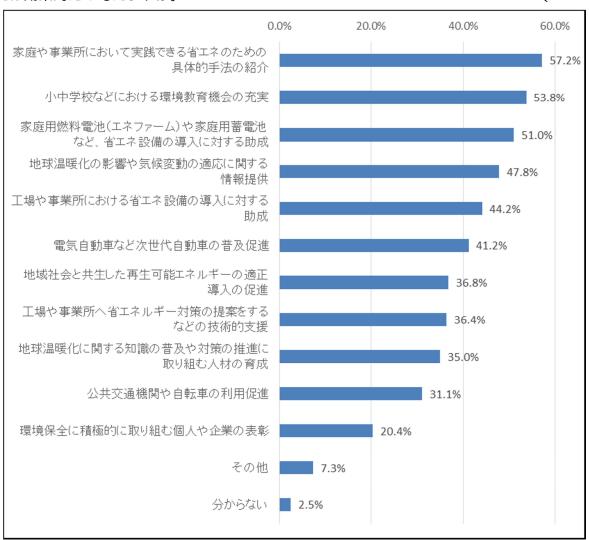
地球温暖化対策の取組は、手間がかかったり、ある程度我慢をしたりしなくてはならない面もありますが、一人ひとりの取組の積み重ねが大きな効果をもたらします。このことについて、あなたはどのように考えますか。 (n=437)



地球温暖化対策の取組に係る手間や我慢に関する項目について、「手間がかかったり、ある程度我慢をしてでも積極的に取り組みたい」((28.4%)と「快適な生活を損ねない範囲で、ある程度取り組みたい」((53.3%))を合わせた【取り組みたい】が (81.7%)であり、「節電(節約)に繋がるなどのメリットがあれば、多少は取り組みたい」((16.0%))も合わせた【多少でも取り組みたい】は(97.7%)であった。

【問7】(県に期待することについて)

茨城県が実施する、地球温暖化を抑制していくための対策として、どのような取組を重点的に 行えば効果的だと考えますか。 (n=437)



県が重点的に行うべき地球温暖化対策(緩和策)の項目について、「家庭や事業所において 実践できる省エネのための具体的手法の紹介」(57.2%)が最も多く、次いで「小中学校な どにおける環境教育機会の充実」(53.8%)、「家庭用燃料電池(エネファーム)や家庭用蓄 電池など、省エネ設備の導入に対する助成」(51.0%)の順であった。

「その他」(7.3%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・温暖化は止まらないので対応した生活スタイルなどを示してほしい。
- ・地球温暖化対策者への資金的な優遇(税制面、補助、助成)。
- ・市町村の地球温暖化貢献ランキングを作成して競争させる。
- ・今の家電や生活に合った正しい情報の周知徹底。
- ・僻地への電気自動車の順電気充電器施設のインフラ促進。
- ・省エネ等温暖化に寄与する新技術や実績を募集し表彰や懸賞を与える。
- ・二酸化炭素を出さない発電の推進。
- ・バスの本数を増やし、自家用車の利用を減らす。

など、32件のご意見がありました。

3 調査の概要

(1)調査形態

調 査 時 期:令和2年12月15日(火)~12月28日(月)

調 査 方 法:インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

モニター数:655名(県内在住者のみ)

回 収 率:66.7%(437名)

回答者の属性:以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているた

め、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数(人)	比率(%)
全体(n)		437	100.0
地域別	県北	44	10.1
	県央	155	35.5
	鹿行	31	7.1
	県南	165	37.8
	県西	42	9.6
性 別	男性	203	46.5
	女性	234	53.5
性・年齢別	16~19 歳	4	0.9
	20~29 歳	31	7.1
	30~39 歳	76	17.4
	40~49 歳	106	24.3
	50~59 歳	112	25.6
	60~69 歳	53	12.1
	70 歳以上	55	12.6
職業別	自営業	33	7.6
	会社員	144	33.0
	団体職員	16	3.7
	公務員	15	3.4
	主婦・主夫	106	24.3
	学生	12	2.7
	無職	61	14.0
	その他	50	11.4

(2)担当課

茨城県県民生活環境部環境政策課(地球温暖化対策グループ)

電話:029-301-2939 E-mail:kansei3@pref.ibaraki.lg.jp